

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金関係事業		基本目標	適切な森林整備の推進		
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	山本 勇樹	評価者	長町信幸
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 町内の民有林										
	意図・目的 森林所有者による計画的かつ一体的な森林施行を通じた適切な森林管理を推進するため										
事業の内容	施行実施区域の明確化・歩道の整備等										
22年度決算額	254	千円	23年度予算額		千円	事業従事者数	H22 0.12	人	H23 0.12	人	
主な支出項目	交付金	254	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	864 千円			
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	856 千円			
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		#DIV/0!	%	
			千円	一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
			千円			千円					
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		森林整備地域活動支援補助金						
	補助交付団体		補助金要綱								
	22年度	補助額	254,750	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額		円	終期	年度
		団体の決算額	254,750	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
		補助の割合	100.0	%							
繰越額		0	円								

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 森林施行の計画的実施	適切な森林管理の実施	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 施行実施区域の明確化	所有界の確認、施行実施区域の刈り払い、簡易杭やペンキによる標示	
	2		
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	森林施行の計画的実施	目標値	40	40	40
		実績値	40	40	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	施行実施区域の明確化	目標値	45.52	50.95	50.95
		実績値	45.52	50.95	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金関係事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		13	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益性 (公平性)	山林の適正な管理は環境保護の面からいっても重要であり、公益性が非常に高いといえる。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-	
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	環境保全に山林の管理は必要不可欠なものであり、各所有者が自己所有林の管理を適切に行うためにも、非常に有効な事業と考えます。	今後の方向性			
			拡充 現状維持 縮小 廃止			○
			廃止 縮小 現状維持 拡充	コスト		

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎国県補助でもあり検討の余地はなく現状維持と考える。 ◎国県補助がなくなった場合の検討が必要である。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	